

バッテリーパック交換手順書①

警告



- バッテリー端子には絶対に触らないでください。感電する恐れがあります。
- コネクタに棒・指などを入れないでください。感電する恐れがあります。



- 塩分や腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・故障の原因になります。
- バッテリーパックは定期的にメンテナンスを実施してください。
- 寿命になったバッテリーを使用しているとバッテリーの劣化が進み、漏液・感電・火災の恐れがあります。
- バッテリーコネクタの端子は絶対にショートさせないでください。
- 火傷・感電・発煙・発火の恐れがあります。

注意

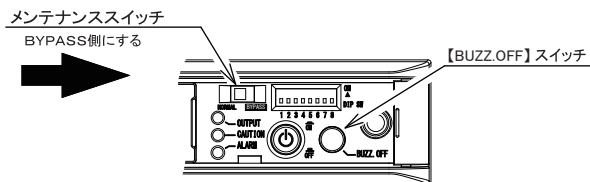


- バッテリーの充電のために24時間運転をおすすめします。寿命に至ったバッテリーはリサイクルします。そのまま廃棄せず、お買い上げの販売店・当社拠点にご連絡ください。
- バッテリーの交換は、BACK-UP STATION を含め一斉に実施してください。
- 著しく劣化したバッテリーを混在したままで使用すると期待した性能とならない場合があります。
- UPS運転中に接続負荷のシステムを停止せずにバッテリーパックの交換をする際には、UPS本体のメンテナンススイッチをBYPASS側に切り替えてください。

作業の前にUPS本体付属の取扱説明書をお読みください。

BATTERY PACK 交換手順

- ① UPS本体のメンテナンススイッチをBYPASS側にしてください。

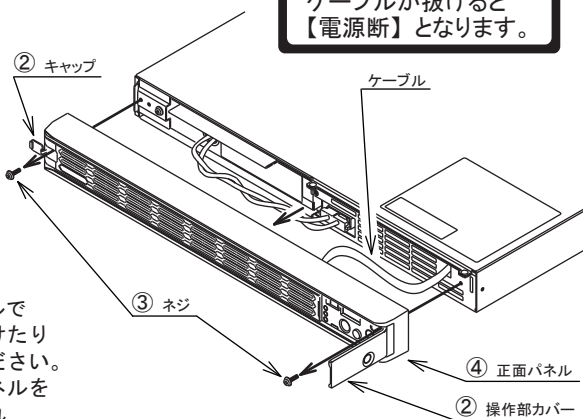


注意

ケーブルが抜けると【電源断】となります。

- ② 正面パネル左のキャップと操作部カバーを開きます。
- ③ 正面パネルを固定しているネジ（左右2本）を外します。
- ④ 正面パネル下部を手前に引いて外します。

※このとき、正面パネルと本体はケーブルで接続してありますのでケーブルを傷つけたり引き抜いたりしないように注意してください。ホットスワップでの交換の際、正面パネルをぶら下げた状態にするとケーブルが外れ電源断となることがありますのでご注意ください。



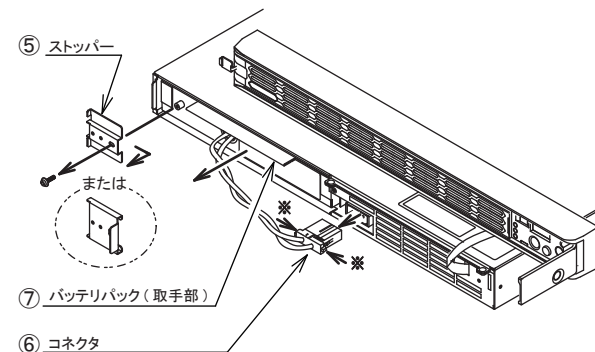
本UPSのバッテリーパックの交換は、ホットスワップ方式を採用しております。UPS運転中に接続負荷のシステムを停止させること無く、バッテリーパックの交換が可能です。停止状態でも可能です。

注意

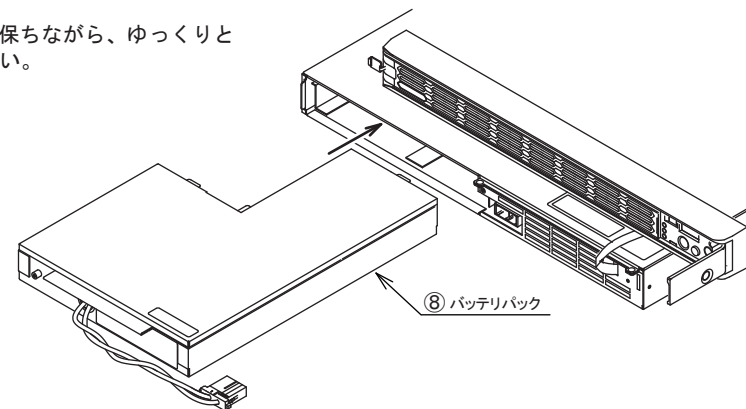
重量物につき、バッテリーパックの底面を持って移動・設置してください。落下させるとけがの恐れがあります。

※ストッパーの形状が異なる場合は裏面を参照してください。

- ⑤ ストッパーのネジを外し、ストッパーを右へスライドさせ外します。
 - ⑥ バッテリーパックのコネクタを外します。コネクタ両側のロック爪を図の※→方向に押しながらゆっくりと引き抜いてください。（電線を引っ張らないでください）
 - ⑦ 古いバッテリーパックの取手を持ってゆっくりと引き出します。（電線やコネクタを引っ張らないでください）
- その際、両手でしっかり保持し落下に注意してください。



- ⑧ 新しいバッテリーパックを水平に保ちながら、ゆっくりと奥まで確実に押し込んでください。



- ⑨ バッテリーパックの取り付けが完了したら、手順を逆に⑥→⑤→④→③→②と行って組み立ててください。
- ⑩ 最後にメンテナンススイッチをNORMAL側にしてください。

※本図は参考としてUPS610SPにて説明しています。

バッテリー寿命カウンタのリセット

バッテリーパックを取り付けた後は、引き続きバッテリー寿命カウンタをリセットします。

リセット方法

- 1) UPSを待機状態（入力ケーブルを商用電源に接続）または運転状態にします。
- 2) 正面パネル右の【BUZZ.OFF】スイッチを約10秒間長押しします。ブザーが「ピッ。」となってリセットが完了します。

対象弊社製UPS： UPS610SP
UPS1010SP
UPS1510SP

バッテリーパック交換手順書②

警告



- バッテリー端子には絶対に触らないでください。感電する恐れがあります。
- コネクタに棒・指などを入れないでください。感電する恐れがあります。



- 塩分や腐食性ガスの発生する場所では使用しないでください。火災・故障の原因になります。
- バッテリーパックは定期的にメンテナンスを実施してください。
- 寿命になったバッテリーを使用しているとバッテリーの劣化が進み、漏液・感電・火災の恐れがあります。
- バッテリーコネクタの端子は絶対にショートさせないでください。
- 火傷・感電・発煙・発火の恐れがあります。

注意

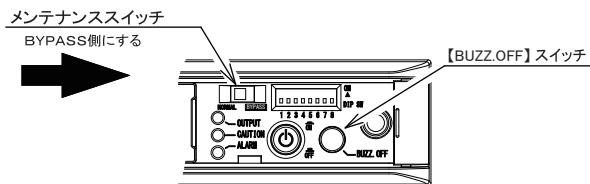


- バッテリーの充電のために24時間運転をおすすめします。寿命に至ったバッテリーはリサイクルします。そのまま廃棄せず、お買い上げの販売店・当社拠点にご連絡ください。
- バッテリーの交換は、BACK-UP STATION を含め一斉に実施してください。
- 著しく劣化したバッテリーを混在したままで使用すると期待した性能とならない場合があります。
- UPS運転中に接続負荷のシステムを停止せずにバッテリーパックの交換をする際には、UPS本体のメンテナンススイッチをBYPASS側に切り替えてください。

作業の前にUPS本体付属の取扱説明書をお読みください。

BATTERY PACK 交換手順

- ① UPS本体のメンテナンススイッチをBYPASS側にしてください。

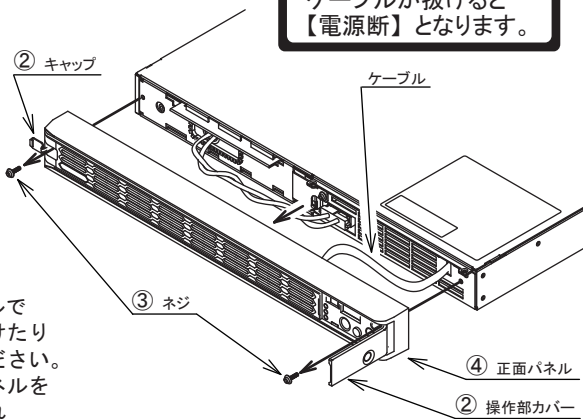


注意

ケーブルが抜けると【電源断】となります。

- ② 正面パネル左のキャップと操作部カバーを開きます。
- ③ 正面パネルを固定しているネジ（左右2本）を外します。
- ④ 正面パネル下部を手前に引いて外します。

※このとき、正面パネルと本体はケーブルで接続してありますのでケーブルを傷つけたり引き抜いたりしないように注意してください。ホットスワップでの交換の際、正面パネルをぶら下げた状態にするとケーブルが外れ電源断となることがありますのでご注意ください。



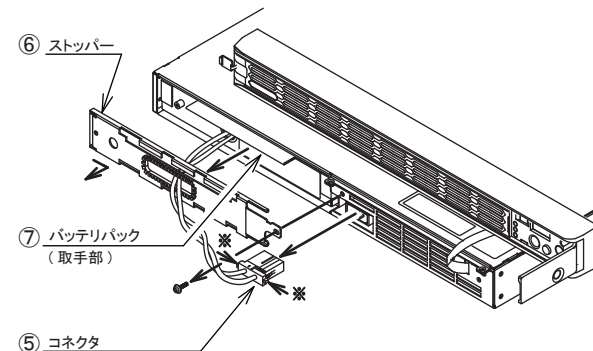
本UPSのバッテリーパックの交換は、ホットスワップ方式を採用しております。UPS運転中に接続負荷のシステムを停止させることなく、バッテリーパックの交換が可能です。停止状態でも可能です。

注意

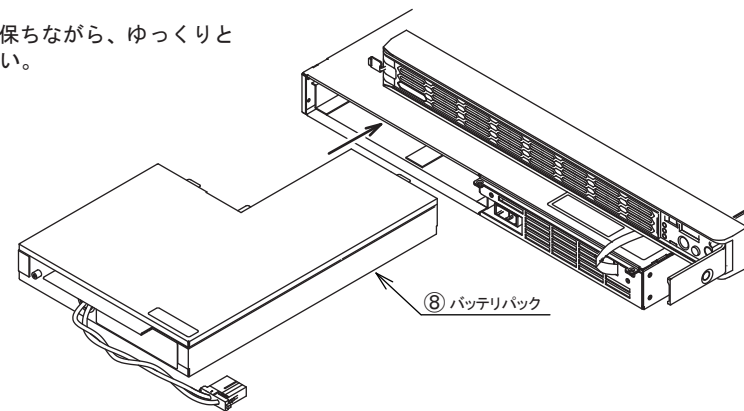
重量物につき、バッテリーパックの底面を持って移動・設置してください。落下させるとけがの恐れがあります。

※ストッパーの形状が異なる場合は表面を参照してください。

- ⑤ バッテリーパックのコネクタを外します。コネクタ両側のロック爪を図の※→方向に押しながらゆっくりと引き抜いてください。（電線を引っ張らないでください）
- ⑥ ストッパーのネジを外し、ストッパーを右へスライドさせ外します。（コネクタに引っ掛けないでください）
- ⑦ 古いバッテリーパックの取手を持ってゆっくりと引き出します。（電線やコネクタを引っ張らないでください）
その際、両手でしっかり保持し落下に注意してください。



- ⑧ 新しいバッテリーパックを水平に保ちながら、ゆっくりと奥まで確実に押し込んでください。



- ⑨ バッテリーパックの取り付けが完了したら、手順を逆に⑥→⑤→④→③→②と行って組み立ててください。
- ⑩ 最後にメンテナンススイッチをNORMAL側にしてください。

※本図は参考としてUPS610SPにて説明しています。

バッテリー寿命カウンタのリセット

バッテリーパックを取り付けた後は、引き続きバッテリー寿命カウンタをリセットします。

リセット方法

- 1) UPSを待機状態（入力ケーブルを商用電源に接続）または運転状態にします。
- 2) 正面パネル右の【BUZZ.OFF】スイッチを約10秒間長押しします。ブザーが「ピッ。」となってリセットが完了します。

対象弊社製UPS： UPS610SP
UPS1010SP
UPS1510SP